

山北Lifeな人

縁あって期間限定ですが山北で暮らすことになった小仲井さん。
一問一答方式で山北について話してもらいました！



今年の10月から対面でのパン教室を始めた小仲井さん。少人数でランチ付きのレッスンはカフェのような雰囲気で開催されていました。

体を動かすことが好きでテニスをきっかけに地域の人と交流が始まったという小仲井さんは、「ほっこり文字作家」としても活動しています。

パン教室の開催で地域の反応はいかがですか？

まだオープンしたばかりですが、ご参加いただいた皆さんがとても楽しそうに笑顔いっぱいで作られていました。色々な情報交換の場ともなり、みんなで楽しむ時間を共有できる場になっていると感じます。山北にいるからこそその材料（塩や水）が更にパンのおいしさにつながっています。



ほっこり文字のランチメニュー

山北に住んだきっかけは？

2年前の夏に夫の仕事の関係で勝木集落へ引っ越してきました。

山北に関わって感じた良いところ、魅力は？

美しい海と夕日は毎日見ても飽きないくらい感動ものです。また、新鮮な魚を車で届けてくれる魚屋さんがあり、魚のおいしさにおどろきました！山菜や地元野菜など、ご近所さんからお裾分けをたくさんいただき嬉しいですし、とても美味しいと思います。

山北で一步足りないと感じることは？

交通機関が不便なところ。食べるころ（レストラン、カフェなど）が少なかな。農家さんが作る野菜などいろいろある産直が山北にあるといいなと思います。

今後山北と関わっていきたいですか？

関わっていきたいです！ご近所の皆さんや体育館の利用で色々な方と出会い、たたく受け入れてもらい、ここで何か皆さんと一緒に楽しいことができると感じています。



パン教室で生徒と一緒にパン作り

期間限定になるかもしれませんが、今後山北でやってみたいことはありますか？

農家さんと一緒にパンとコラボレーションした「ワンデーカフェ」ができたと思います。また、どこかパン焼きができるスペースで、子どもから大人までパン作りの楽しさを味わえることを開催できたらいいなと思います。

小仲井さんからの一言

小さな自宅アトリエで天然酵母のパン教室を開催しています。パン作りを通して皆さんの交流の場となればと思っています。

パン教室については下記QRコードをご覧ください。



正直ど〜お？山北の日々

山北地域で活動する地域おこし協力隊と支援員
取組状況や山北について本音を聞いてみました！

地域おこし協力隊

高杉 惇

【最近の取り組み】

- ・ 笹川流れハーバーマーケット
 - ・ フルコースティナーイベント
 - ・ さんぽく祭
 - ・ さんぽく軽トラ市
 - ・ さんぽく会館OPPイベント
 - ・ 縄文の里音楽祭
 - ・ モクリンフェスなど
- 食のイベントを通して、山北の食の魅力を広げる活動を実施。
- ・ ミニシアターカフェ
- 居場所づくりとして、親子で楽しめる活動を実施。
- ・ BSNラジオ出演
 - ・ まるごと下越取材など
- 地域における食の魅力を外部へ届ける活動を実施。



- ・ さんぽく小学校ゲスト講演

など

・ 明大生との意見交換会
学生と一緒にまだまだ知らない地域を勉強中。

【山北の良いところ】

- ① 食の豊かさ
- ② 常に絶景
- ③ お裾分け文化
- ④ 集落毎に特徴がある

【山北のことがよくなる もっといいな】

住民や若者が気軽に集えるようなカフェやコミュニティスペースが増えると地域内の交流が盛んになり、地域にとってプラスの作用になるのではないかと思います。

各イベントなどで知り合えた方々の力を借りながら、山北の「食」の魅力を広げていきたいです。



集落支援員

大滝 順子

【最近の取り組み】

羽越しな布作りの伝統を未来に繋げていくための活動をしています。

実物の反物に触れていただく機会や講演、巡回での制作過程の写真展などです。6月から準備してきた系づくり教室が、秋からさんぽく会館でスタートしました。素敵な方々が参加してくださり、嬉しくて楽しい時間です。今後も続きますので、ご興味のある方はぜひ！詳しくは山北支所自治振興室までお電話を！



【山北の良いところ】

本当においしいと思う食材にあふれていて、毎日その恩恵を受けています。おかげでふっくらしてしまったので、現在ダイエットを実施中です。

地域の皆さん勤勉で優しく、魅力的な方ばかり！

【山北のことがよくなる もっといいな】

各集落にタイプな個性と魅力があると思います。過疎化をその魅力で解決！と考えるとき、初めて山北へ訪れた移住希望者にはかなり難易度が高めに感じられると思うので、お試し移住体験できる空き家や不動産を紹介できる場所があるといいと思います。

山北で暮らし、積極的に活動するお二人が山北で足りないと感じる部分は、まち協としても参考にしながら、取り組みを進めていきたい問題です。